

令和7年度  
入学試験問題

第2回

国語

- 1 問題用紙は監督者かんとくしゃの指示があるまでは開いてはいけません。
- 2 開始のチャイムが鳴ったら、最初に問題用紙と解答用紙に受験番号と氏名を記入して下さい。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。
- 4 記述で答える問題は、特に指定のない場合、句読点くとうてんや符号ふごうは一字として数えるものとします。
- 5 問題は1ページから16ページまであります。

受験 番号		氏  名	
----------	--	------------	--

森村学園中等部

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

## 問一

—— a 「本や新聞などの印刷物」と—— b 「個人が発するネット情報」について、筆者はどのように比較していますか。その説明として、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 本や新聞は発行前に何度も校正が入るので情報が正確だが、ネット情報は発信者が見直しをする機会を得ないため情報に誤りが含まれる可能性がある。

イ 本や新聞は技術と経験のあるプロが確かな情報を発信するが、ネット情報は経験の乏しい一般人による情報発信となるため信頼性は低い。

ウ 本や新聞は著者の他にも複数の目で内容の真偽や矛盾の有無を検証できるが、ネット情報は発信者がそれらを全て個人で行うためにミスが生じやすい。

エ 本や新聞は責任の所在が明確で誤りも正される傾向があるが、ネット情報は発信者の特定が難しいため誤りがあつたとしても誰も訂正しない。

## 問二

—— ① 『表現する自由』とありますが、それはどのようなことですか。具体的に述べている部分を、「——こと。」につながる形で本文中より二十五字で求め、最初と最後の五字をぬき出して答えなさい。

問三 ———— ② 「正しい情報ばかりではなく、なぜ信憑性のない情報までもが広がってしまうのか」とありますが、この疑問に対する答えとして、**適当でない**ものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 暮らしに関わる内容や人々の関心がある重要度の高い事柄は、信憑性がなくても広がる傾向があるから。  
 イ インターネットの普及による情報量の爆発的な増加に、正誤をチェックする人々の作業が追いつかないから。  
 ウ 社会が混乱していたり人々が不安な状況にあったりすると、根拠のない話でも広まることがあるから。  
 エ 流れてくる情報の正確性がわからず先の見通しが立たない状況下では、情報の拡散が起こりやすくなるから。

問四 ———— ③ 『『流言の量（どれだけ飛び交うか）』は、『その当事者にとつての重要さ』と『あいまいさ』の積（掛け算した値）に比例する』という考え方について、本文のトイレットペーパーの例と本文以外の例を左のように表にまとめました。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

本文以外の例②	本文以外の例①	本文の例	背景 流言の内容	「R」（流言の量）	「i」（重要さ）	「a」（あいまいさ）
二〇一六年熊本地震 「動物園からライオンが逃げた（ライオンの画像付き）」	二〇一一年東日本大震災 「うがい薬を飲むと放射能から体を守ることができる」	二〇二〇年コロナ禍 「トイレットペーパーが買えなくなる」		非常に多い ↓ 全国的に品薄	トイレットペーパーは生活必需品であるため重要度が高い。	トイレットペーパーの入荷の見込みが分からなかった。
				非常に多い ↓ 問い合わせが殺到	重要度が高い。	当初混乱があったが、すぐに専門家がうがい薬の摂取は放射能被害の予防効果がなく、健康被害も起こるといって正しい情報を発信した。サーバーがダウンしたことで、ライオンは逃げ出していないという動物園からの正しい情報の発信が遅れた。

(1) あ に当てはまる言葉として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 非常に多い      イ 多い      ウ 非常に少ない

(2) 表を参考にしながら、い に入る言葉を自分で考えて答えなさい。

問五 I に入る言葉として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 両方の要素とも一定量に満たなければ      イ 両方の要素が同じならば  
ウ どちらかの要素が少なければ      エ どちらかの要素がゼロならば

問六 A C に当てはまる語として、適当なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア つまり      イ たとえば      ウ では      エ ところが      オ ところで      カ さらに

問七 ④「この式に『批判的能力』というもう一つの要素を加えました」とありますが、ここで筆者がこの要素を加えた式を紹介しているのはなぜだと考えられますか。その意図として、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 「批判的能力」を持つ人と持たない人とは、情報に惑わされる確率が明らかに異なることを証明するため。  
イ 「批判的能力」とは情報を鵜呑みにせず考える力で、それがSNS社会に必要な力であることを強調するため。  
ウ 「批判的能力」をおのおのが身に付けられれば、社会を惑わせる流言の量を大幅に減らせることを示すため。  
エ 「批判的能力」の重要性が認められるようになり、この能力を身に付けている人が増えたことを表すため。

問八 流言の拡散を防ぐ「対策」として、何が必要だと文章1の筆者は述べていますか。それを端的に述べている言葉を文章1の本文中より十字以内で求め、ぬき出して答えなさい。

問九 文章2ではトイレットペーパーの品薄はなぜ起きたと書かれていますか。五十字以上六十字以内で説明しなさい。

問十 文章1・文章2について、共通する内容として適当でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア インターネットのない時代であれば、買い占めのような社会的な問題は起こらなかった。  
イ SNSなどによる、トイレットペーパーに関する情報の拡散が品薄のきっかけとなっている。  
ウ 悪意のあるネット情報の拡散だけが、社会の混乱を招く原因であったとは言い切れない。  
エ 人々が実際にトイレットペーパーを購入するに至った心理には、不安や心配があった。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。



こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

こちらの文章問題は、  
著作権の確認が取れ次第、公開いたします。

## 問一

- ①「もっと早く気づいていればよかった」とありますが、姉はどんなことに「気づいていればよかった」と思っているのですか。その説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。
- ア 死んだ母は、入院している間ずっと家に帰りがついていたこと
  - イ 死んだ母は、真由美さんよりも大切にされるべきだということ
  - ウ 死んだ母は、言い伝えの通りお盆ぼんの間は家に帰ってきていたこと
  - エ 死んだ母は、来年以降はこの家に帰ってこないかもしれないこと

問二 ——— ②「思いかけて、やめた」とありますが、「ぼく」がそのようにしたのはなぜですか。その理由として最も適当なものを次から

選び、記号で答えなさい。

- ア 実の母よりも真由美さんのほうが好きだと思ふことは、病死した母をないがしろにしていることになり申し訳ないと思ったから。  
イ 死んだ母の顔が思い浮かばなかつたので、自分が母と真由美さんのどちらが好きかを考えることはできないと気がついたから。  
ウ 姉に実の母と比べられる真由美さんよりも、家に帰りたいと思ひながら亡くなつた母のほうがかわいそうだと思ひなおしたから。  
エ 真由美さんよりも実の母のほうが好きだという姉の思ひを否定して、泣いている姉に反抗することはできないと気が引けたから。

問三

——— ① I · II に当てはまる語句を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1)

- ア 押す I  
イ 唱える ウ 叩く エ 改める

(2)

- ア はさんで I ふるわせて ウ すべらせて エ とがらせて

問四

——— ③「祖母の声が少し揺れた」とありますが、それはなぜですか。その理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 来年のお盆からは娘を田舎で迎えようと決めていたので、来年からもウチに帰ってくるのかという孫の問いかけにはつきり答へることがためらわれたから。

イ 孫が、死んだ娘がウチに帰ってくるかどうか何度も尋ねるので、自分自身もお盆には死者が帰ってくるという言い伝えが怪しく思えてきたから。

ウ 死んだ娘がウチに帰ってくることを孫たちは望んでいるとわかり、来年から自分の家に娘を迎えるのはやめることにしようかと迷っているから。

エ 孫がお盆の言い伝えは迷信であると感じてしまったので、もう自分たちの母親と会えないことに絶望してしまうのではないかと心配したから。

問五 ——④「そうなること」とありますが、具体的にはどうなることですか。その説明として適当でないものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 来年から母が帰ってくるのは母が亡くなった二月になること

イ 祖母がお盆に「ぼく」たちの家に来るのは今年で最後になること

ウ 来年のお盆から母は子どもころの頃に住んでいた家に帰ること

エ 父が再婚さいこんしたので母は「ぼく」たちの家に帰ってこなくなる事

問六 ——⑤『やだあ、帰ってくるわけないって、死んだ人が。そんなの迷信だもん』とありますが、この発言の裏にある「姉」の母に対する本心が述べられている一文を場面2から三十字以内で求め、最初の八字をぬき出しなさい。

問七 ——⑥「誰だれが持って行ったのか、理由はなんだったのか、見当がつく」について、次の問いに答えなさい。

(1) 持って行ったのは誰だと考えられますか。本文中からぬき出しなさい。

(2) どんな理由で持って行ったと考えられますか。五十字以上六十字以内で答えなさい。

問八 ——⑦「二人の声は、いつになく、くつきりと大きく耳みみに響ひびいた」とありますが、この一文によってどのようなことが表現されていますか。その内容の説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 「ぼく」は声も思い出せないくらいに死んだ母の記憶きおくが薄うすれたことを寂さびしく思い、二人が生きているうちに二人を大切にしようと決意したことを表現している。

イ 「ぼく」は新しい家族四人で祖母と死んだ母を見送ったことで、送り火の終わりとともに、また前と同じ日常を生きていこうと気持ちきもちを切り替かえたことを表現している。

ウ 「ぼく」はお盆の行事が無事に終わったことで母への未練がなくなつて、これまでよりも二人からの声かけを素直に聞けるようになったことを表現している。

エ 「ぼく」は姉が二人を両親として暮らしていくことを受け入れられたと感じ取り、自分も改めて新しい家族の形を前向きまへむきに捉とらえるようになったことを表現している。

問九 この作品を読んだ生徒たちの会話を読み、あとの問いに答えなさい。

生徒A お盆という行事があるのは知っていたけど、なすびの牛を飾る風習は知らなかったよ。

生徒B 私の祖母の家では、なすびの牛だけでなく、きゅうりの馬も飾っているよ。なすびの牛はあの世に戻るときもどの乗り物だけど、きゅうりの馬は亡くなった人がこの世に帰ってくるときの乗り物なんだって。

生徒C なんでこの世に帰ってくるときの乗り物は牛ではなく馬なんだろう？

生徒B あ という願いがこめられているんじゃないかな。

生徒C なるほどね、それに対して、あの世に戻るのには「牛の歩み」で、つまりゆっくりであってほしいと願っているんだね。

生徒A そんな工夫したって意味ないのに。亡くなった人が本当に帰ってくるわけじゃないんだからさ。

生徒B Aさんは、お盆に亡くなった人が帰ってくるのは「迷信」だと思う？

生徒A 正直そう思う。お盆なんてやったってしかたないよ。

生徒C しかたないってことはないんじゃない？ 残された側にとっては、お盆の行事は気持ちの整理をする機会になるよ。「ひろちゃん」がそうでしょう。

生徒B 「ひろちゃん」は、亡くなったお母さんはこの世に帰ってきていると信じて、お母さんのことをいろいろと思い出しながらお盆を過ごしたんだね。そして最後には「なすびの牛」を作ってしっかり見送ることができた。だから、「ひろちゃん」は  表情をしたんだよ。

生徒A そうか。お盆の行事は亡くなった人をとむらうためだけでなく、残された人のためにもあるんだね。

(1) 会話中の  あ にあてはまる文を二十字以内で考えて書きなさい。

(2) 会話中の  い にあてはまる部分を場面3から二十四字で求め、最初と最後の五字をぬき出して答えなさい。



次の①～⑧の——部のカタカナを漢字になおし、⑨～⑫の——部の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

- ① 開会のセンゲンをする。
- ② めきめきとトウカクを現す。
- ③ ヨケイなことに口出しする。
- ④ このテレビは録画機能をナイゾウしている。
- ⑤ 校則を時代にコオウさせる。
- ⑥ ゴール前はコンセン状態である。
- ⑦ 祖父は散歩をニツカとする。
- ⑧ 弟は、まちがいを認めずイナオるところがある。
- ⑨ 説明を聞いて合点がいく。
- ⑩ 手近な本を手にとる。
- ⑪ 彼は大声で口早に呼び立てた。
- ⑫ 発表会まで残すところあと十日です。

